

第 420 回 役 員 会 議 事 録

日 時： 平成 30 年 6 月 4 日（月） 17：10～17：25

場 所： 特別応接室

出席者：

久保総長 丸野理事 井上理事 荒殿理事 安浦理事
若山理事 石橋理事 玉上理事 山縣理事

欠席者：

1 平成 30 年度卓越大学院プログラムへの申請について

平成 30 年度卓越大学院プログラムへの申請について説明があり、審議の結果、本学から申請するエネルギー卓越大学院について、当該プログラムが採択された際には、工学府水素エネルギーシステム専攻、同学府機械工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻、地球資源システム工学専攻、エネルギー量子工学専攻、航空宇宙工学専攻、芸術工学府芸術工学専攻、デザインストラテジー専攻、人間環境学府空間システム専攻、経済学府経済工学専攻、経済システム専攻、総合理工学府量子プロセス理工学専攻、環境エネルギー工学専攻及び生物資源環境科学府農業資源経済学専攻の参画の下、マサチューセッツ工科大学（材料科学工学科・原子核工学科研究室他）、インペリアル・カレッジ・ロンドン（工学部他）、イリノイ大学アーバナシャンペーン校（工学部他）、ハワイ大学マノア校（自然エネルギー研究所、経済学科）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（エネルギー研究センター）、J X T G エネルギー株式会社、東京ガス株式会社、トヨタ自動車株式会社、三菱日立パワーシステムズ株式会社、九州電力株式会社、西部ガス株式会社、株式会社九電工、日産自動車株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、アイシン精機株式会社、株式会社アイシン・コスモス研究所、三浦工業株式会社、日本ガイシ株式会社、日本特殊陶業株式会社、アサヒグループホールディングス株式会社、豊田通商株式会社、みずほ情報総研株式会社、一般財団法人日本エネルギー経済研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、福岡県及び福岡市と連携して、調書に記載の事項について確実に実施することを議決した。

2 平成 29 年度研究推進職（URA）の業務評価について

研究推進職（URA）の平成 29 年度業務評価について説明があり、審議の結果、これを議決した。

3 業務の適正を確保するための体制等の確認状況（平成 29 年度）について

業務の適正を確保するための体制等の確認状況（平成 29 年度）について報告があった。

（以 上）